

# 全科協ニュース

URL <http://www.kahaku.go.jp/jcsm/>

全国科学博物館協議会 ☎110-8718 東京都台東区上野公園 独立行政法人国立科学博物館 Tel.5814-9863 Fax.5814-9898 平成21年1月1日発行(通巻第224号)

## 特集：新設展示・博物館情報

### 仙台市天文台がめざすこと 「宇宙を身近に」

仙台市天文台 佐々木 瑞穂

仙台市天文台は1955年の開台以来、「市民天文台」として市民とともに活動をし、市民に宇宙に触れる機会を提供してきました。その精神は、PFI事業になっても受け継がれ、2008年7月1日にリニューアルオープンいたしました。「宇宙を身近に」を新しく運営される仙台市天文台の使命とし、1.3mの大型望遠鏡を備えた観測ゾーン、25mの大型ドームにリアルな星空と迫力ある宇宙を表現するプラネタリウムゾーン、4つのエリアで宇宙の様々な現象を身近にする大型(1200m<sup>2</sup>)の展示ゾーンの3つを兼ね備えた天文総合施設となっています。

展示ゾーン 宇宙を身近にする空間

展示ゾーンは「地球エリア」「太陽系エリア」「大宇宙エ

リア」「天文学の歴史エリア」の4つのエリアで構成されています。

「地球エリア」では外から地球を眺めてみることに主眼を置き、宇宙の立体的な広がりや視野をはぐくむ展示を目指しています。具体的には、日常生活の中でも時折空を見上げるきっかけとなるよう、季節の変化や潮の満ち引きなど、天文学が私たちの暮らしに関わっているテーマを取り上げています。

「太陽系エリア」では近い将来人類が行き来できるかもしれない距離としての宇宙を、美しい惑星の表情や基本情報、最新の時事天文情報を取り上げながら紹介していきます。



展示ゾーン



惑星広場

「大宇宙エリア」では、まだ探査機も訪れたことのない世界を、研究・観測データをもとに画像やCG映像による再現などで表現していきます。

「天文学の歴史エリア」では、壁一面を覆う巨大な年表や宇宙観の変遷を現したオブジェなど、宇宙を見つめる人類のこれまでの歩みを表現しています。また、仙台藩が古くから天文に関心を持っていたことや仙台市天文台の観測機器の変遷を紹介する展示も行っています。

さらに、屋外には1.3mの大型望遠鏡を太陽の位置として、惑星軌道の縮尺を75億分の1とした太陽系の縮尺模型を表現した惑星広場があります。展示ゾーン内の5千万分の1の惑星模型と共に宇宙の大きさを体感してもらう場所となっています。

#### ビジュアル・アイデンティティ

仙台市天文台では、施設の使命である「宇宙を身近に」を象徴的に表現するシンボルマークをつくりました。これは宇宙と日常とを結ぶ矢印で、天文台がメッセージするものを指し示しています。

#### 〈施設概要〉

館名 仙台市天文台

住所 宮城県仙台市青葉区錦ヶ丘9丁目29-32

電話 022-391-1300 FAX 022-391-1301

URL <http://www.sendai-astro.jp>

リニューアルオープン日 平成20年7月1日

建物面積 4,802.66m<sup>2</sup>

延べ床面積 6,061.33m<sup>2</sup>

主な施設内容 1.3m大型望遠鏡、観測室、展示室、  
プラネタリウム

工期 平成18年5月1日～平成19年12月27日

総工事費 65億円

PFI構成企業 伊藤忠商事(株)、戸田建設(株)、(株)橋本、  
(株)NTTファシリティーズ、  
(株)トータルメディア開発研究所、  
(株)五藤光学研究所



VI(ビジュアル・アイデンティティ)の一例

# 自然・健康・生命を歴史のフィルターを通して、 漢方を学ぶ・知る・楽しむ

ツムラ漢方記念館 松下 清孝、三村 明義、篠原 精一、田中 健二、島倉 淑恵、重野 智子

## 1. はじめに

漢方は、古代中国から伝来し、日本の多くの先哲医家達の叡智と革新により、日本固有の伝統医学として発展した。

これらの業績を後世に伝え、また最新の医学・薬学の科学的な解明により持続的な発展を続ける漢方の情報発信拠点として楽しみかつ漢方の正しい理解と普及・啓発を目的に、株式会社ツムラは、創業115周年メモリアル事業のひとつとして2008年4月に、世界で唯一の漢方記念館としてリニューアルオープンした。

当記念館は、薬草園を併設し多くのステークホルダーの皆様にも『漢方』のことを分かりやすく、親しみやすくお伝えできるコミュニケーションの場となることを目指している。

## 2. 施設の概要

施設内は、自然光を取り入れた中央の吹き抜け二層空間を中心に館内を一望できるオープンスペース（総延床面積：1,646m<sup>2</sup>）を生かし、自然の恵みである漢方・生薬の持つ体へのやさしさ、暖かさを伝えている。（Fig.1）。専門的な内容を分かり易く伝えるため、漢方数千年の歴史を古医

像設備を備えた多目的ホールを有し、漢方・生薬の講習会・研修会を開催している。

## 3. 施設の展示構成

当記念館の総合テーマは、「伝統と革新」。

漢方・生薬の伝統を分かり易く解説すると共に、日々進歩する漢方・生薬に関する最新の医学・薬学研究（基礎・臨床研究、分析・製剤・品質研究等）を常に集積し情報発信することを目的にしている。

一階は、「漢方医学の歴史と新しい展開」をテーマに、生薬の花（24種の写真）・漢方医学の概論/歴史・医療用漢方製剤と生薬（116種の実物展示）・漢方医学の確立/育薬の推進およびツムラのメッセージと、5ゾーンから構成されている。

漢方医学の概論/歴史では、北里大学東洋医学総合研究所古曾戸洋教授の監修により、日本最古の医学書である医心方を現代和訳により解説し、漢方医学の歴史は、奈良時代の伝来から現在まで、当時の古医書・本草書の解説と実物展示をした他に類のない歴史絵巻が展開されている。



Fig.1

中央吹き抜け展示空間

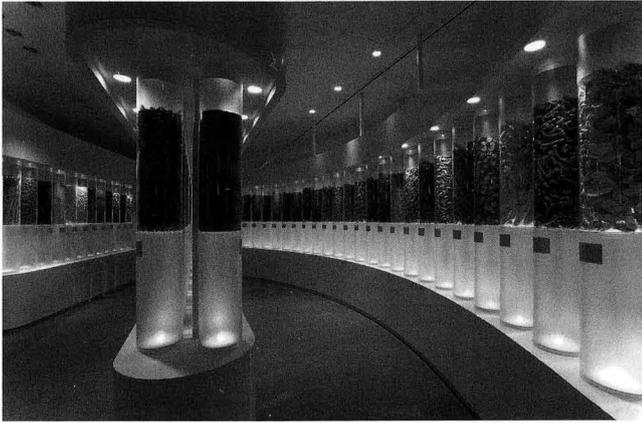


Fig.2 シンボル展示、医療用漢方製剤と生薬（116種）

生薬の展示は、アクリル製20cmの円形筒に下からLED電光によりライトアップし、当記念館のシンボルとなっている（Fig.2）。

一方、2階は、「革新とツムラの歴史」をテーマに、漢方製剤と製造／トレーサビリティ・情報検索ライブラリー／生薬体験コーナー／書籍閲覧等のコミュニケーション等

の4ゾーンから構成されている。

生薬の安全・安心・安定確保のトレーサビリティ体制や漢方製剤の製造・品質管理の展示は、創業115周年の当社が永年に亘り培ってきた漢方・生薬の情報・技術を集約した展示になっている。

近年、疾病構造に大きな変化が生じており、高血圧症、糖尿病など生活習慣病や認知症をはじめとした高齢者疾患、女性が抱える特有の症状も増加している。これらの治療に、漢方が積極的に取り入れられるケースが増えていることから、漢方はもはや日本の医療に不可欠なものとなっている。

当記念館は、人々の健康と医療に貢献することを目指し、これからも展示内容を充実し広く社会に情報提供する活動を継続していきたい。

また、この度、財団法人日本産業デザイン振興会が主催する2008年度グッドデザイン賞（分類：公共施設・建物）を受賞した。

## 千葉県科学館について

千葉県科学館 大高 一雄

### 開館1年を迎えて

千葉県科学館は2007年10月20日に開館し、1年ちょっ

とたったところである。当科学館は指定管理者制度の導入館であり、指定管理者が5ヶ年間の運営にあたっている。



スケルトンカーで楽しく体験  
（常設展示室9階）

市教育委員会とは、月次の運営協議会のほか日常的に調整を図りつつ、館の事業を推進している。制度の特性から事業効率と、幅広いプログラム開発を目指しているが、科学館の使命、その文化的存在意義は明らかであり、このことが、市や事業者ばかりでなく、館長以下館員の最重要関心事でもある。事業効率と文化的レベル、二つながら高く、というのが市民の願う科学館の姿であろう。いろいろ是正を加えながらの初年度の運営・活動で、この種の問題がずいぶん解決されてきた。手直しを加えつつも、今の体制でこれからも走れるのではないかと振り返っているところである。

初年度の入館者数として年間30万人を目指したが、ちょうど一年目に50万人目の来館者を迎えることができた。昨年の開館直前に、一日がんばれば全部の展示が経験できる、と思った来館者としての私の第一印象は、間違いであったとわかった。おそらく館内展示をすべて体験するには朝から晩まで3日間位かかるであろう。2、3時間程度の来館時間では、10回位来ないと展示だけでも体験しきれない。この意味で、来館者の中に、リピーターが多く含まれているのはうれしいことである。

### 運営コンセプト「人が主役」に込められたもの

展示を「体験」する、という言い方をしたのは、個々の展示で「遊ぶ」ことをしないと科学館に来たことにはならないからである。展示で「遊ぶ」というのは、展示を触ったり、試したり、館員に質問したり、考えたり、文字通りに遊んでしまったり、することである。館内の常設展示は計140余あり、3フロアで構成される。そこに、求めているのは「人が主役」という館のあり方（運営コンセプト）



科学マジックで皿回し（常設展示室9階）

である。「体験する」「遊ぶ」という言葉の中にも「人が主役」という意味がこめられている。ここでの「人」は来館者自身である。わからないことについて、館員に質問し、それがきっかけになって館員と質問者の間に会話がはずみ、さらには、それを取り囲む来館者の輪ができ、館員が関連展示やワークショップに来館者をひっぱる。さらに、「より深く」を目指し、大学から専門家を招いて講演会で補足する。あるいは、その場で簡単に実験を中心としたワークショップを行う。当科学館は、このような日常的な風景をめざしている。ここでの「人」は、来館者ばかりではなく、館員も、さらには館を取り巻く専門家達も含まれる。館を取り巻く専門家として、千葉大を中心とした大学院生と教員、それぞれ約20名からなるサポートグループが立ち上がり、館の活動を支えている。

館内で展開されるさまざまなイベントも、館の活動として重要である。土曜、日曜日ともなると、館員、ボランティア、市民グループ等々が担当講座、実験教室、講演会、ワークショップ、サイエンスショーが数多く走っている。夏休み中は各種イベントが連日目白押しで走っていた。来館者数が示す、千葉市科学館の好調さは、これらのイベントを担う、市民の方々のおかげでもある。ここでは「人が主役」の「人」、それはまさに市民そのものであることが



1階アトリウムから見上げるプラネタリウム

わかる。

## 2年目に向けて

「館長からの挑戦」と称して展示について、理科的な質問状を出して回答を求めたり「理工系を志望する高校生」、「高校生以上の市民」、「中学生」、「小学生」向けの4つの理科実験コースなども走り、市民全体の科学館という側面をど

ンドン打ち出している。今後2年目からの一層の発展が期待される。

200人を超える市民ボランティアの参画活動や新鋭プラネタリウムを活用したプログラム展開も、特筆したい当館の誇りであるが、紙面の関係で別の機会に譲りたい。

関係諸兄の来館をここからお待ちしております。

# 北九州イノベーションギャラリーのご紹介

北九州イノベーションギャラリー 中山 雅代

「北九州イノベーションギャラリー」は、国内唯一の“イノベーション”をテーマとする公共施設として、我が国の近代製鉄発祥の地である北九州市八幡東区東田の地に2007年4月にオープンしました。“イノベーション”は、単に技術革新にとどまらず、新しい生活スタイルや社会システムの原動力となる「変革」・「新機軸」などと、大変広く捉えております。

## 1. 活動目的および事業概要

一世紀以上にわたる工業都市としての歴史の中で、この地が蓄積してきた3つの資産「人材」「技術」「産業遺産」を活用し、地域の人材と連携しながら学生や技術者に高度

な技術教育を実施し、企業や大学と協力して産業技術の保存継承に取り組み、また新しい技術革新へつなげるための各分野の技術者、研究者などが自由に交流できる場として市内外の皆様に利用されています。

事業としては、技術者、経営者、デザイナーなど、ものづくりや企業に携わる人々を支援するための各種講座を定期的に開催するほか、イノベーションに関する企画展の実施、次世代への継承を目的とした調査研究、国立科学博物館との共同研究、外部委託研究などの推進、映像・図書の収集と公開を行い利用者の研究や学習を情報面からサポートしています。また将来を担う子どもたちへの“ものづくり”体験の講座も定期的実施しています。



北九州イノベーション  
ギャラリーの外観

## 2. 施設と実施内容

当館の施設は大きく分けて5つの空間で構成され、これら事業の実施を可能にしています。

年表ギャラリーは、イノベーションの歴史を壁一面に掲示・案内した常設のギャラリーであり、明治以降の世界、日本、北九州のイノベーションの歴史が体系的に表され、約2,500出来事を紹介しています。年表の中で特に象徴的な500の出来事について詳しい解説を65インチのディスプレイに画像と音声で案内しています（日・英・中・韓国語対応）。

企画展示室は、特別な設備を持たないニュートラルな空間です。さまざまな視点から産業技術とイノベーションを捉え、企画ごとにテーマを深く掘り下げ、展示手法も内容に最も適したスタイルを採用しています。これまでの企画展は「鉄」「水」「光」「ロボット」など多岐に渡る内容で、多くのお客様に足を運んでいただいています。

ライブラリーは、産業技術とデザインの分野に特化した書籍、雑誌など約1万冊の蔵書を持ち、今年度から北九州市内の企業の社内報や企業誌などを収集・設置し、新しい情報も発信しています。

別棟の工房棟には、金属加工・木材加工、各種溶接機や



常設の年表ギャラリー

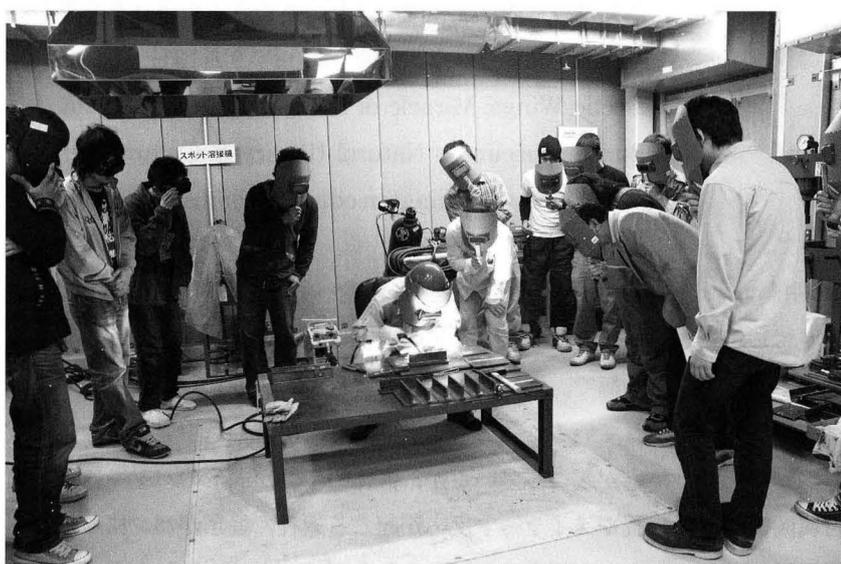
3Dモデリングマシンなどが設置されています。当館の特徴的な講座「工房塾」を毎月開催し、ものづくりにおける卓越した技術・技能を持つ北九州市認定のマイスターの直接指導により、若手技術者や学生に「ものづくりの魅力」を感じ取っていただいています。

プレゼンテーションスタジオは、約130席を有し、講演会やシンポジウムなど多目的に利用できます。産業映像の上映会など定期的に行っています。

ほかに、ラウンジや中庭的なイベントコート、カフェ、および広大な芝生広場などを交流のスペースとしてご利用

いただき、更に、多目的スペースなど貸出可能な施設では、民間企業、一般市民団体など利用者自らの企画運営によるイベントや講座などのご利用も増えています。

当館は、斬新なデザインと清潔感溢れる癒しの空間を持ったユニークなギャラリーとして、地元のみならず国内或いは海外からもお客様が訪れています。



工房塾

**米ニューベッドフォードに、新しい海洋科学館が開館**

海洋をテーマにした新しい科学館が米国マサチューセッツ州ニューベッドフォードに2008年7月5日にオープンした。同館は、海洋学を土台にしながら、地球温暖化や「人間と環境」、沿岸の魚類等を常設展示で取り上げている。Ocean Explorium, New Bedford.

<http://www.oceanexplorium.org>

<http://www.southcoasttoday.com/apps/pbcs.dll/article?AID=/20080704/SPECIAL29/807040308>

**米アドラー天文博物館で、天文航測展が開催中**

米国シカゴのアドラー天文博物館は、歴史的に貴重な航測機器を多く所蔵していることで知られているが、現在同館の所蔵品の中から天文航法に使われた歴史的な航測機器を紹介した企画展が開催されている。会期：2008年5月24日～2009年1月25日。

Special Topics in the History of Astronomy:Navigation. Adler Planetarium & Astronomy Museum, Chicago.

<http://www.adlerplanetarium.org/exhibits/galleries.shtml#temporary>

**ロンドン自然史博物館で、ダーウィン展が開催中**

2008年11月14日から、ロンドン自然史博物館でダーウィン展が開催されている。同展ではチャールズ・ダーウィンの生涯と業績が豊富な標本資料を中心に紹介され、アメリカ自然史博物館をはじめ、フランクリン科学博物館、フィールド博物館、ボストン科学博物館および王立オンタリオ博物館との共同企画で制作された展覧会である。会期は、2009年4月19日まで。

Darwin - Big idea big exhibition.

Natural History Museum, London.

<http://www.nhm.ac.uk/visit-us/whats-on/darwin/>

**ロンドン大学図書館で、ダーウィン展が開催中**

ロンドン自然史博物館でのダーウィン展に先立って、ロンドン大学の附属図書館で、同館所蔵の貴重資料の中から、ダーウィンの生涯と業績に関連した資料を選んで展示した小規模の収蔵品展が開催されている。展示品の中に、最後の著作となった『ミミズと土』の初版本(1881年発行)も紹介されている。

ダーウィン展が開催されているロンドン大学附属図書館の本館は、ダーウィンがビーグル号の航海から帰って、4年近く住んだ家があった跡地にできたダーウィン館と同じ

ガワー通りに面している。会期：2008年10月27日～2009年4月30日。

Charles Darwin of Gower Street.

University College London Library Services. London.

<http://www.ucl.ac.uk/Library/exhibitions/charles-darwin/>

**米太平洋科学館で、人類の起源展が開催中**

オーストラロピテクスのルーシーは、1974年11月30日にエチオピア北東部で発見された約320万年前の化石人骨である。オーストラロピテクス・アファレンシスの中で最も初期に発見されたものの一つとして、また、全身の約40%にあたる骨がまとまって見つかったということで、人類の起源の研究史で大変重要な発見である。

現在シアトルの太平洋科学館で、ルーシーをはじめとするアファール猿人の化石人骨を紹介した特別展が開催されている。同展はヒューストン自然科学博物館が企画制作した展覧会であり、同時にエチオピアの歴史も紹介している。会期：2008年10月4日～2009年3月8日。

Lucy's Legacy: The Hidden Treasures of Ethiopia.

Pacific Science Center, Seattle.

<http://www.pacsci.org/LUCY/about.html>

<http://lucyexhibition.com/>

**米バーク自然史博物館で、北極の鳥類展が開催**

冬季の北極圏は極寒の地に違いないが、夏季になると世界各地から190種類以上の渡り鳥が飛来する集散地でもある。

シアトルにあるワシントン州立大学のバーク自然史博物館では、夏季に北極圏を訪れるさまざまな渡り鳥を撮した写真展が開催された。会期：2008年9月13日～12月31日。

Arctic Wings: Miracle of Migration.

Burke Museum of Natural History & Culture, Seattle.

<http://www.washington.edu/burkemuseum/>

[arcticwings/](http://arcticwings/)

**ウィーン技術博物館で、食べ物の科学展が開催中**

現在オーストリアの首都ウィーンにあるウィーン技術博物館で、食べ物を科学の視点から紹介した企画展が開催されている。食品加工をはじめ、料理の途中でどんな化学反応が起こっているか、液体の牛乳が固形のバターになる過程やメイラード反応が起こる過程、穀類がパンになる過程などが紹介されている。会期：2008年10月22日～2009年6月21日。

Geschmacksache: Was Essen zum Genuss macht.

Technischen Museum Wien

<http://www.tmw.at/default.asp?id=2614&cid=18&al=Deutsch&am=>

#### ロンドン科学博物館で、戦後の先端技術開発展が開催中

ロンドン科学博物館で、現在第二次世界大戦から現在に至るまで、イギリスにおける先端技術の開発の歴史を紹介した企画展が開催されている。ブラッドハウンド地对空ミサイルをはじめ、ロールズ・ラピード社が開発した二槽式洗濯機に至るまで、イギリスが世界に誇ってきた代表的な国産品と技術が紹介されている。会期：2008年4月30日～2009年10月25日。

Dan Dare & the Birth of Hi-tech Britain.

Science Museum, London.

[http://www.sciencemuseum.org.uk/visitmuseum/galleries/dan\\_dare\\_and\\_the\\_birth\\_of\\_high-tech\\_britain.aspx](http://www.sciencemuseum.org.uk/visitmuseum/galleries/dan_dare_and_the_birth_of_high-tech_britain.aspx)

#### 米ロッキー博物館で、虫を使った科学捜査展が開催中

法医昆虫学 (Forensic Entomology) とは法医学・科学捜査の一分野であり、死体を摂食するハエなどの昆虫が、人間の死体の上に形成する生物群集の構成や、構成種の発育段階、摂食活動が行われている部位などから、死後の経過時間や死因などを推定する学問のことである。日本ではまだ発展途上の学問であるが、米国では研究が進んでおり裁判の証拠によく使われるようだ。

米国のモンタナ州立大学のロッキー博物館 (モンタナ州ボーズマン) では、法医昆虫学をわかりやすく紹介した企画展が開催されている。13世紀の中国では早くも法医昆虫学の基礎が築かれ、同展の展示の導入部で取り上げられている。会期：2008年9月20日～2009年1月25日。

CSI: Crime Scene Insects.

Museum of the Rockies, Bozeman.

<http://museumoftherockies.org/Home/EXPLORE/CurrentExhibits/CSICrimeSceneInsects/tabid/413/Default.aspx>

#### オンタリオ科学館で、イスラム科学技術発展史展を開催へ

8世紀から18世紀までのイスラム世界は、科学史において、黄金時代と言われている。航海術をはじめ、建築、光学、医学、天文学、数学等の分野では、約1000年にわたって同時代的に西欧諸国を凌駕していた。

トロントにあるオンタリオ科学館では、こうしたイスラム文明の輝かしい科学技術の歴史を紹介した企画展が2009年

2月5日に開幕する。会期は2009年5月10日まで。

Sultans of Science:1000 Years of Knowledge Rediscovered. Ontario Science Centre, Toronto.

<http://www.ontariosciencecentre.ca/school/events/exhibitions.asp#sultans>

#### デトロイト科学館で、スタートレック展が開催へ

日本でも多くのファンを獲得しているアメリカの人気テレビSF番組「スタートレック」の世界を紹介した特別展が、2009年2月14日にデトロイト科学館ではじまる。展示では、初期の『スタートレック』シリーズの宇宙戦艦エンタープライズのブリッジをはじめ、『新スタートレック』シリーズのピカード艦長の艦長室や転送室等が目玉展示として設けられている。会期：2009年9月7日まで。

STAR TREK: THE EXHIBITION.

Detroit Science Center, Detroit.

<http://www.detroitssciencecenter.org/events/StarTrek.htm>  
<http://www.museumtix.com/venue/program.asp?pvt=&vid=693&pid=2089904385&code=>

#### ニューメキシコ自然史博物館で、三畳紀の恐竜ホールがオープン

北アメリカの博物館で唯一の三畳紀の常設展示ホールがニューメキシコ自然史博物館に2008年5月17日にオープンした。三畳紀に生息したコエロフィシスをはじめ、エリスロスクスやフィットサウルス等の化石が紹介されている。

Dawn of the Dinosaurs: Triassic New Mexico.

New Mexico Museum of Natural History and Science.

<http://www.nmnaturalhistory.org/triassic/index.html>

#### カーネギー科学館で、ロボット展示ホールがオープンへ

米国ピッツバーグのカーネギー科学館で、ロボットを紹介した常設展示ホールが2009年春にオープンする。広さが約600㎡の展示室では、ロボットの視覚システム、人工知能システム、動作システムを紹介する三つのコーナーが設けられることになっている。総工費：340万ドル。

Roboworld.

Carnegie Science Center, Pittsburgh.

<http://www.carnegiesciencecenter.org/default.aspx?pageId=377>

\* (やすい・りょう) E-post:ZAKvaran@aurora.ocn.ne.jp



開催館	展覧会名	開催期間
新江ノ島水族館	ハッピーニューイヤー in 新江ノ島水族館2009	12月26日～1月31日
	1月のテーマ水槽「飾海老」	12月26日～1月31日
	開運2009干支でみる生き物語	12月30日～1月18日
	海の恵みにありがとう	1月10日～ 未定
糸魚川フォッサマグナミュージアム	特別展「世界のジオパークをめざして-糸魚川のすばらしい地質遺産-」	4月26日～ 未定
新潟県立自然科学館	特別展「遊び学ぶレゴ <sup>R</sup> エデュケーション～みて・さわって・うごかして科学体験～」	12月9日～1月12日
立山カルデラ砂防博物館	巡回写真展「すばらしい自然を」	1月10日～2月11日
	特別展「映像でみる自然の脅威と砂防」	2月13日～3月15日
黒部市吉田科学館	平成20年度プラネタリウム自作番組原画展	12月23日～2月1日
富山市科学博物館	企画展示「私の身近な自然展」	11月29日～1月12日
	企画展示「ナチュラリスト協会写真展」	1月24日～2月15日
佐久市子ども未来館	巡回展示「バランスグローブ」	11月7日～4月8日
	特別企画展「海のトリビア！ 海と船の巡回展」	11月15日～1月12日
	子ども科学作品展	1月17日～1月25日
	巡回パネル展「しんかい6500～17年の軌跡～」	12月6日～1月4日
	巡回パネル展「月のふしぎ」	1月31日～3月1日
岐阜県博物館	資料紹介展「岐阜県のやきもの」	1月24日～3月22日
	マイミュージアムギャラリー「遊竹」	12月21日～2月1日
東海大学海洋科学博物館	干支の生きもの（丑うし）	1月1日～1月12日
東海大学自然史博物館	特別展「カメの姿とその進化」	1月1日～4月5日
ディスカバリーパーク 焼津	「たのしい鉄道模型展」	12月13日～4月5日
豊橋市自然史博物館	干支展「ウシに魅（ひ）かれて博物館」	12月20日～1月25日
名古屋市科学館	「小林・益川・下村ノーベル賞展」	1月31日～3月8日
トヨタ博物館	企画展「団塊世代のブームとクルマ」	10月15日～3月29日
	博物館明治村	「日本各地の門松・しめ縄めぐり」
滋賀県立琵琶湖博物館	「かたどられるウシ -うし年郷土玩具展-」	12月13日～2月22日
	滋賀県立琵琶湖博物館	ギャラリー展示「細密画で見る琵琶湖の水鳥たち-鳥の羽根に想いをこめて」
きしわだ自然資料館	特別展「バッタ・コオロギ・キリギリス～南大阪の直翅類昆虫たち～」	11月26日～2月11日
明石市立天文科学館	2009年全国カレンダー展	12月13日～1月25日
広島市交通科学館	企画展「新幹線展」	1月20日～3月22日
防府市青少年科学館（ソラル）	設立10周年記念企画展「大切にしたい自然」	2月7日～3月8日
徳島県立あすたむらんど子ども科学館	特別展「あすたむ科学絵画展」	12月20日～1月12日
愛媛県総合科学博物館	森のめぐみ木のものがたり展	12月20日～1月30日
	企画展「地衣類の世界」	2月28日～5月10日
福岡県青少年科学館	冬の企画展「遊んで感じて『感覚』展」	12月13日～1月12日
佐賀県立宇宙科学館	冬の企画展「謎の素粒子ニュートリノ展～地球をもすり抜けるユーレイ粒子をつかまえろ！」	12月20日～2月15日

**高品質表現力**

文化施設・商業施設・動刻・ディスプレイ・デザイン・制御演出・施工

# kokoro

**株式会社 ココロ**

〒205-8556 東京都羽村市神明台4丁目9番1号  
TEL: 042-530-3939 FAX: 042-530-4050  
<http://www.kokoro-dreams.co.jp/>

小さなボディーに大宇宙を詰め込んだ、最新デジタルプラネタリウムシステム

## メディアグローブII (MEDIAGLOBE-II)

メディアグローブIIは世界で初めてフルカラー投射を可能にした小型デジタルプラネタリウム”メディアグローブ”の後継機種。地上で見られる星空の投射だけでなく、3D天文データベースによる宇宙旅行シミュレーションまで可能になりました。星空自動解説機能、簡単操作で番組を自作できる機能やマクロボタンなど使い易さも格段にレベルアップして運営面もご心配りしません。小規模スペースに神秘的な大宇宙をお届けします。

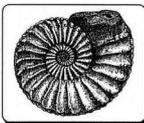


**コニカミルタ プラネタリウム株式会社**

東京事業所 〒173-0003 東京都板橋区加賀 1-6-1 TEL (03) 5248-7051  
大阪事業所 〒550-0005 大阪市西区西本町 2-3-10 西本町インテス 11 階 TEL (06) 6110-0570  
東海事業所 〒442-8558 愛知県豊川市金屋西町 1-8 TEL (0533) 89-3570

**TOKYO SCIENCE CO., LTD.**

ミュージアム・ショップ向/教育用地学標本



since 1974

地学標本/化石・鉱物・岩石  
古生物/レプリカ・復元模型  
恐竜復元モデル

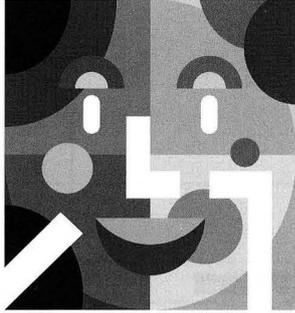
◆常設ショールーム：紀伊國屋書店・新宿本店1F TEL. 03(3354)0131 (代表) ◆

Fossils, Minerals & Rocks  
TEL.03-3350-6725 FAX03-3350-6745  
**株式会社 東京サイエンス**  
<http://www.tokyo-science.co.jp>  
E-mail: info@tokyo-science.co.jp  
〒151-0051 渋谷区千駄ヶ谷5-8-2 イワオ・アネックスビル

*Practical Specimens for Study of Earth Science*

**NOMURA**

人が集う場、そこにはいつも楽しさとか、おどろきとか、が溢れています。

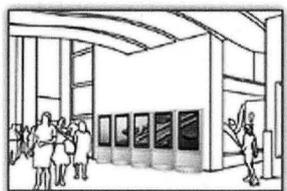


Prosperity Creator  
**NOMURA**  
<http://www.nomurakougei.co.jp/>

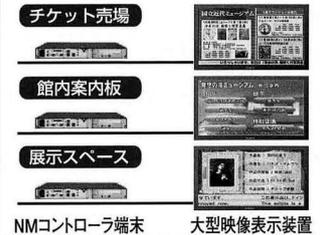
集客環境づくりの調査・コンサルティング、企画・デザイン、設計、制作施工  
株式会社 **乃村工藝社**  
本社：東京都港区台場2-3-4 Telephone 03-5962-1171 (代表) 〒135-8622  
営業拠点：札幌・仙台・大阪・岡山・広島・高松・福岡・那覇・ニューヨーク・北京・上海  
ならびに各種施設・イベントの活性化、運営管理

映像・情報配信ソリューション **NMStage**

入館案内表示



チケット売場  
館内案内板  
展示スペース



NMコントロール端末 大型映像表示装置

**パナソニックSSマーケティング株式会社**  
〒160-0022 東京都新宿区新宿5-15-5 新宿三光町ビル  
電話03-5919-5176 FAX03-5919-5216  
<http://WWW.pssm.co.JP>

より良い「社会交流空間づくり」にむけて—。

調査・企画・デザイン・設計・制作・施工・監理・運営およびコンサルティング・プロデュース

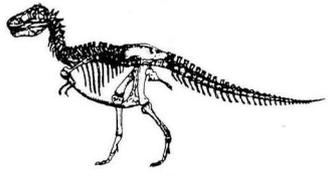


**Tanseisha**

株式会社 **丹青社** 〒110-8549 東京都台東区上野5-2-2  
TEL.03-3836-7221(代表) <http://www.tanseisha.co.jp>  
札幌・仙台・名古屋・大阪・福岡・那覇

\*ISO14001認証取得・プライバシーマーク認定取得

※世界の化石・  
鉱物・恐竜・化石  
人類・動物骨格  
標本及び模型の  
輸入専門業者



ティラノサウルス・REX

株式会社 **ゼネラルサイエンス**  
コーポレーション

〒107-0052 東京都港区赤坂3-11-14 赤坂ベルゴビル802  
TEL 03 (3583) 0731代表 FAX 03 (3584) 6247

全科協ニュース編集委員会

ミュージアムパーク茨城県自然博物館 資料課長 國府田良樹  
大阪市立自然史博物館 学芸課学芸員 佐久間大輔  
科学技術館 企画広報室次長 田代英俊  
国立科学博物館 広報・サービス部 広報・サービス部参与 井上透

**全科協事務局**  
国立科学博物館 広報・サービス部 情報・サービス課 高橋  
Tel.03-5814-9863 Fax.03-5814-9898

発行日 平成21年1月1日  
発行 全国科学博物館協議会©  
〒110-8718 台東区上野公園7-20 国立科学博物館内  
印刷 島崎印刷株式会社